



ライトアップされたまちかど郷土館



水あめの屋台は大人気



回廊を練り歩く備中温羅太鼓



盆踊り

レトロな時代にタイムスリップ

宮筋ものがたり～第二章～

9月30日と10月1日、総社宮と総社商店街筋で「宮筋ものがたり～第二章～」が開催されました。

2回目となった「宮筋ものがたり」。ステージが組まれた総社宮では、国司着任式が挙行されたほか、ダンスや吹奏楽・バンドの演奏、盆踊りなどが、総社商店街筋では、昭和時代を思わせるレトロな出店が並びました。

電球色で会場がライトアップされた夜間は行きかう人もピークに。懐かしい水あめの味や射的などを楽しみ、一昔前にタイムスリップしていました。



5



4



3



1



6



2

①赤米ライトアップ ②赤米応援ソングの「ヒカリノミ」を合唱 ③相川七瀬さん ④加藤登紀子さん ⑤中村あゆみさん ⑥チケットの赤米フェスタ2017手ぬぐいを振り、大いに盛り上がる会場

赤米文化を伝えるために

赤米フェスタ 2017

9月11日から17日までの赤米フェスタ2017期間中、備中国分寺五重塔と赤米の圃場がライトアップされました。

16日にはメインイベントであるヒカリノミ・コンサートを開催。台風18号の影響で、会場を備中国分寺南の広場から市民会館に変更して行われました。

出演陣は、総社赤米大使を務める歌手の相川七瀬さんをはじめ、加藤登紀子さん、中村あゆみさんなど豪華ゲスト。約3時間半のライブは満員の観客で盛り上がりました。

ヒカリノミ・コンサートの入場料は、赤米の伝承活動のための基金（ヒカリノミ基金）に全額寄付されます。



ミニフォト

岡さん 100歳おめでとう



家族に祝福される岡さん

岡清香さん（三須）が10月6日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。裁縫や細かい作業をすることが得意だったという岡さん。長寿の秘訣は、好き嫌がなく何でも食べることだそうです。

井手さん 100歳おめでとう



家族に祝福される井手さん

井手静子さん（中央四丁目）が9月20日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。花を育てることが好きだった井手さん。長寿の秘訣は、好き嫌がなく何でも食べることだそうです。

ヒイゴ池モデルを世界に発信



湿地を歩いて回る視察団

中米・カリブ地域7カ国の環境省関係者ら15人が9月21日、ヒイゴ池湿地を視察しました。視察団は、湿地保全のため岡山道の構造変更を行ったことなどを聞き、インフラ整備と環境保全の両立について知見を広げていました。

第7弾

山田むかしなつかしの
小学校
ライスカレー

「そうじゃ小学校ライスカレー」の第7弾、山田小学校版が10月21日に山田分館でお披露目されました。現存しない幻の山田小学校の味は、山田小学校に通っていた地域の人と話し合いを重ねて作成。大豆が入っているのが特徴で、隠し味にしょうゆとウスターソースを加えて味を調えています。

問い合わせ 農林課地食係 (☎) 8273

松浦さん 100歳おめでとう



家族に祝福される松浦さん

松浦静江さん（山田）が10月14日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。花づくりが好きで、現在も庭の手入れをすることがある松浦さん。長寿の秘訣は、好き嫌がなく何でも食べることだそうです。

多文化共生社会を考える



マレーシアのカレー

多文化共生イベント「そうじゃインターナショナルフェスタ」が10月7日、カミガツジプラザで開催されました。ダンスや歌のステージ発表が行われたほか、7カ国の屋台が出店。約1500人が来場し、各国の文化に触れていました。

白色のソバの花が広がる



満開のソバの花

9月下旬、原地区のソバ畑の花が見ごろを迎えました。ソバ畑は原営農組合が管理しており、面積は約4300㎡。11月に収穫され、12月には収穫したソバを振る舞うそば祭りが高梁川水内河川敷で開催される予定です。

火災から人命を守る



心肺蘇生法で救命する

消火器による消火技術、心肺蘇生とAEDを用いた救命技術を競う総社ファイヤー・セービング大会が10月4日、市消防本部で開催されました。市内の事業所から男女合わせて27チームが参加し、正確さと時間を競いました。